

いっちょよまえな 農業人をめざして



東京都狛江市出身

小野 昇

(鶴子在住)

昨年4月からこちら
の地に農業研修に来て
おります小野昇と申し
ます。出身は東京で、
農業とは無縁のごく一
般的なサラリーマンの
家庭で育ちました。
こんな私がここの尾花
沢にきたのも、東京池
袋で開催された新農業
人フエアがきっかけで、
現在の受け入れ農家の
本間さん、尾花沢市役
所の方々と知り合う事
ができました。昨年の
約一年間は鶴子の本間
善次さんのもて、稲
作の研修を受けてきま
した。生活面、農作業、
雪等々、私にとっては
何もかもが初めての経
験でしたので、来た当
初は不安で一杯でした。
また、こちらの土地、
農業での常識というも
のは一切持っていない
かったため、昨年一年
間は本間さんも頭を悩
ませたと思います。そ
んな私でも、受け入れ
農家を始め、市役所
集落の方々の支えもあ
り、この一年間は、無
事に怪我無く過ごす事
ができました。冬期間
も出来るだけ農業に関
わりながら生活してい
たいと思い、農業技術普及
課の方から稲作の講習
を受けたり、山菜栽培
農家の手伝いにも行き、
この冬は大変充実した
時間を過ごす事ができ
ました。今年の目標と

しては、昨年度の課題
であったトラクターや
コンバイン等の機械乗
りをいっちょよまえに出
来るようになる事です。
稲作は、殆どが機械で
の作業なので、この機
械乗り、稲作技術を今
年はなんとしても習得
していければと思っ
ております。

今後の進路はまだ明
確に決まっていません
が、こちらの地で一人
暮らしをして生活力が
着いた事、それを実感
できた事がまず何より
の成果だと思っていま
す。この地域の方々は
他所から来た人にも寛
容で、応援してくれる
方ばかりなので、今後
は是非この地でいっ
ちょよまえな農業人にな
れればと思っております。



議会事務局人事

議会事務局の職員が
4月1日より次のよう
に代わりました。

転出

議事係より
定住応援課長補佐
(地域支援・
ふるさと納税担当)
齋藤 健司

転入

庶務・議事主査(兼)
庶務・議事係長
加藤 誠
(総務課 行政危機
管理係より)

あとがき

雪国は、春が来る
と様々な事が輝きを
増し、不思議と希望
に満ち溢れてくるも
のです。今年はR347
号通年通行が可能に
なった初めての冬を
越え、いつもと少し
だけ違う春を迎えて
います。静かではあ
りませんが、何か1つ、
流れが変わってきた
ように感じます。
議会だよりも、市
民目線で、読みたく
なる紙面づくりをめ
ざし努力してまいり
ました。93号より、
読者モニターの方々
からご意見ご指導を
いただき、次号の改
善に反映して行きた
いと考えています。
そして新たな視点を
取り入れ、市民と議
会をつなぐたよりと
して、出来る事から
変わっていきたく
考えています。ご意
見はどんな事でも欲
迎しますのでお気軽
にお寄せください。
よろしくおねがい
いたします。
(塩原未知子)

議会あれこれ



Q 本会議(年4回の定例会)
以外にどんな会議があるの?

A 下記の通り、様々な会議があります。

全員協議会(全協)とは?

議員全員と市長・副市長・教育長・各
課長などが集まり市政全般について協議
する会議。(H28年 20回開催)

議会運営委員会とは?

議会の円滑な運営を行うためおかれて
いる。議会の日程・議事の進め方などを
審査する会議。(H28年 8回開催)

- 市議会だより編集委員
- 委員長 塩原未知子
- 副委員長 小関 英子
- 委員 大類 好彦
- 委員 笹原 和子
- 委員 伊藤 浩
- 委員 鈴木 清
- 委員 鈴木 裕雅

おばなぞね 市議会だより 93号

平成29年4月15日発行

3月定例会

予算の審議(総括質疑)	2	一般質問	8
予算特別委員会(総括質疑)	4	広域組合議会報告	13
平成28年度補正	6	議会日誌	14
分科会委員長報告	7	私のひとこと	16

表紙写真：4月7日、市内小学校の入学式が一堂に行われた。鶴子小学校では、1人だけの新入生を12名の児童が笑顔で迎えるアットホームな入学式となった。

いよいよ

新庁舎建設へ

市庁舎建設事業 9億4716万円

総事業費26億5千万円を見込み、H29年度は建設工事費の約36%の計上となります。



新庁舎建設工事 今後のスケジュール
 (再積算) 平成29年 4月 (工期) 平成29年 7月～平成30年11月 (17ヶ月)
 (公告) 平成29年 5～6月入札

銀山温泉地区放水銃設置事業

697万円

銀山川の両岸に設置してある5基の消火栓を放水銃型にかえることにより、1人での操作が可能となり、避難者の安全確保を目的に噴霧による放水も行えます。操作が簡単なことが特徴です。

選手派遣費補助事業

300万円



県、東北、全国大会に出場する中学生の遠征費に関し、補助率を70%から100%に拡充します。

3月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載、他は全会一致)

○：賛成 ×：反対 /：議長

議案番号	案件名	表決の結果	鈴木裕雅	塩原未知子	笹原和子	伊藤浩	鈴木清	小関英子	武田佳久	大類好彦	星川睦子	青野隆一	奥山格	加藤克彦	菅野修一	須貝孝	菅根光雄
議第26号	尾花沢市路線バス設置及び管理に関する条例の設定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○

子育て支援・高齢者に配慮

3月定例会
 てい れい かい
 3/1～3/15

家庭保育応援給付金事業

1000万円

家庭で保育する家族を応援する家庭保育応援給付金事業を新設し、乳幼児1人につき月額7千円、3世帯以上同居の場合はさらに5千円を加算します。



高齢者思いやりタクシー事業

561万円

高齢者の社会参加と生活圏の拡大と、高齢者の生活利便性の向上と福祉の増進を図ります。

政務活動費HPで公開
 収支報告書と領収書などを市議会HPで公開します。
 HPでの公開は全国的に問題となった不適切支出を受け、議会改革検討委員会から提案しました。

課制条例の一部改正

	新	旧
財政課		財政課
新設	新庁舎建設課	
統合	定住応援課	定住推進課 地域支援課

定例会のあらまし
 H29年3月定例会は、3月1日から15日までの会期で開催されました。H29年度一般会計予算、H28年度の補正予算を含む各会計など14議案、市課制条例の一部改正の制定、市議会政務活動費の交付に関する条例の設定、市路線バス設置および管理に関する条例の設定、道の駅尾花沢の指定管理者の指定など15議案と、議案案1件、追加提案された人事案1件を原案の通り可決、10人の議員が一般質問を行いました。また予算特別委員会のなかで各会派ごとに総括質疑を行い、さらに分科会を設置し細部にわたり審査しました。

一般会計 117億7,000万円
 特別会計 53億5,675万円

を可決

予算特別委員会総括質疑

Q&A

市民生活向上に どのように活かす!?

Q 今後の徳良湖周辺のM2工整備をどのように進めて行くのか。
(加藤克彦)

A H28年度に、レストラン徳良湖、花笠の湯、オートキャンプ場、花笠ふれあいセンター、研修センターの5カ所に設置したが、花笠ふれあいセンターについては屋外に設置している。徳良湖周辺は広大な面積があるので、今後は通信関係の整備をさらに進めて行く。

Q 芭蕉清風歴史資料館窓口などの管理事務は、ふるさと振興公社に委託しているが、臨時職員での対応は出来ないのか。(青野隆一)

A 来館者への館内案内や、展示物などについての専門知識が必要とされるので、一年雇用の臨時職員ではなく公社に委託をしている。

Q 防災行政無線の内容が聞き取りにくいようだが、どんな対応をしているのか。
(奥山 格)

A 防災行政無線は屋外対応の設計となっており、屋内では聞き取りにくい。放送内容をゆっくりと分かるように何回もアナウンスする心がけと、非常時に流す注意喚起を促す音声を検討している。

Q 観光物産協会のあり方として、社団法人化は慎重に進めるべきではないか。
(菅根光雄)

A これまで任意団体としていたが、法人化により運営組織を明確にし体制を強化、社会的信用も得られ、観光PR物販関係を、今まで以上に力を入れ、収益を上げられるよう見守っていく。

Q 尾花沢すいかの摘果すいかから採取しているすいかエキスは、今後どのように活用されるのか。(笹原和子)

A すいかエキスは大手メーカーを含む数社の化粧品メーカーから注文がある。またすいかパウダーは、大手ロソク会社から4月3日よりすいかの香りの線香として新発売される。



Q 選手派遣補助事業とはどんなものか。また社会人の派遣は対象になるのか。
(武田佳久)

A 「尾花沢市中学校各種大会選手派遣」に定められているものであり、大会出場選手に登録された者に対し、参加料、宿泊料、交通費の10分の10を補助する事としている。高校生以上については、本市出身者に限り、「スポーツ大会出場激励金制度」がある。

Q 今年の夏本市でのインターハイはバドミントン会場になっている。大会運営が成功となるためどのように考えているのか。
(鈴木 清)

A 2月のリハーサルを基に課題をクリアして大会を成功させたい。

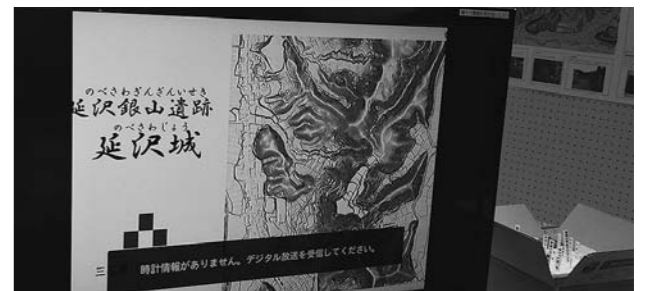
Q 産業創出型シェアハウス事業内容と就農などM2工環境はどのようにすすめるのか。
(小関英子)

A 起業・就農を目指す女性を対象に尾花沢での暮らしを体験してもらいながら、起業・就農の支援を行う。交流スペースは移住者同士の情報交換・地域住民や市内の組織や団体との交流の場と、情報発信の拠点とする。入居費は無料で、入居人数は3名。最大3年間入居可能で共益費、自室の燃料費は自費、M2工環境を整え就農などは関係各課と連携している。



Q 活断層上の尾花沢中学校は移転すべきと考えられるか。
(星川睦子)

A 校舎南側にある砂利駐車場を、サブグラウンドに造成する予定で用地を取得した後は、校舎北側の旧国道からスクールバスの乗り入れを考えている。また、野球場のライト側も狭くなっているため、併せて整備していく予定である。



延沢銀山遺跡ジオラマ(模型)

Q 昨年スキャンした延沢城蹟跡(お城山)の3Dデータをどうするか。3Dプリンターを活用するなどして子どもたちに夢を与えられないか。
(塩原未知子)

A 城蹟部分のジオラマ(模型)は手作業で作成し3Dプリンターは使っていない。城蹟跡は3Dの映像も出来た。今年度は本丸を中心にした周辺部分も作成する予定である。

Q 今年度、圧雪車購入予定となっているが、車体後部にクロスキャントリー用のカッターを取り付けるのか。また、別にコース用カッターを用意するのか。
(鈴木裕雅)

Q 県立公園御所山の登山道のうち、荒神コースが崖崩れにより通行止めとなっているが、復旧工事を急ぐべきではないか。(伊藤 浩)

A 指摘の箇所は沢伝いのコースになっており、危険性もある事から別のルートとして尾根伝いに新たなコースを作れないか検討中である。今後、山の会とも情報交換を進めながら検討したい。

A スノーモービルにコースカッターを取り付ける方法もある。ゲレンデ整備をするのにかなりの重圧がかかると思うが、総合的に話し合い、花笠高原スキー場に最も適した機器を導入したい。



圧雪車後部のコースカッター

Q 名木沢地区の流雪溝整備はいつ完了となるのか。(須貝 孝)

A 今年度も含め、H29年度も予算を大幅に拡充している。名木沢地区の自然流下の部分はH29年度の工事ももつて完了となる。

議長 菅野修一
予算特別委員長 大類好彦
2名は、役職の立場上質疑できません。

一般会計の歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億3696万円を追加し127億7210万円になりました。

平成28年度 補正予算

尾花沢市一般会計補正予算主なもの

(単位：千円)

名 称	金 額	名 称	金 額
給料、職員手当、共済費	▲19,418	簡易水道特別会計繰出金	25,741
減債基金積立金	30,013	中央診療所施設勘定繰出金	20,000
開発行為許可申請図書作成業務委託料	▲7,960	環境衛生事業組合負担金	▲7,758
公共施設整備等基金積立金	50,012	雪害対策事業費補助金	8,000
定住促進対策事業補助金	▲20,000	測量設計業務委託料	▲6,963
ふるさと尾花沢応援基金積立金	52,175	企業立地促進奨励金	39,520
上記寄付に伴う記念品代	36,744	工事請負費（道路補修）	30,000
自立支援給付費	9,600	工事請負費（道路改良）	37,400
生活保護費	8,000	流域関係公共下水道事業負担金	▲5,053

平成28年度 特別交付税決定

総額 7億5971万6千円

H28年度地方交付税のうち特別交付税額が、3月17日に国から決定通知を受けました。
1月16日には7年連続で豪雪対策本部が設置され、市民生活の安全確保のために万全な対策をとってきました。
昨年度まで特別交付税に大きく影響していた新鶴子ダム建設償還金が終了しました。
市議会として、2月中旬に県選出国会議員や、関係省庁を訪ねて、除排雪や子育て支援などの財源確保のために8億円達成を目指して、強く要望活動を行って来ました。

1月臨時議会

H29年1月臨時会が1月18日に開催されました。小野前市長の合同葬などに198万7千万円、福祉灯油購入扶助350万円、中小企業者等除雪経費助成事業費補助金600万円、除雪業務委託料と排雪のための機械等借上料1億5千万円など一般会計補正予算を原案の通り可決しました。



予算特別委員会 分科会委員長報告

第一分科会 総務文教常任委員会

一般会計歳入
山形県経済動向報告に基づく企業の雇用情勢や景気の動向、農業所得の状況などを参考に予算額を算出したところ、市税全体の予算額は16億8千83万円、前年度対比1.3%の増となった旨の説明を受け、市債についても新年度から創設される「公共施設等適正管理推進事業債」などの情報収集に努め、今後も健全な財政運営に当たられるよう要望した。

財政管理費
新庁舎建設に係る委託料及び工事請負費についての発注に当たっては、市内企業も可能な限り参画できるように十分留意して進められるよう要望した。

ふるさと尾花沢応援基金事業
寄付者のほとんどが首都圏の方であること

第二分科会 市民厚生常任委員会

交通安全対策費
高齢者運転免許証自主返納補償費について詳細な説明を受けたが、高齢者の運転による交通事故が増加傾向にあり、社会的関心も高まっていることから更なる周知を要望した。

道路バス運行費
停留所の設置箇所について一部わかりにくい場所があるので、状況を把握し、改善を進められるよう要望した。

社会福祉総務費
民生委員の活動は、地域において重要なものであり、内容も多岐にわたることから、成り手の確保に苦慮している。待遇改善のため国・県へ更なる活動費の増額を求めるとともに、より活動しやすい環境づくりを進められるよう要望した。

老人福祉費
高齢者タクシー補助費について詳細な説明を受け、これを了承したが、リフト付きタクシーの利用券が一乗車一枚の限定使用となっており、通院状況や病院までの距離等によっては使用しきれないケースが発生している。利用率の向上を図るためにも、より活用しやすい方法を検討し、改善されるよう要望した。

健康増進事業費
上柳健康増進施設について詳細な説明を受けたが、閉校した校舎を活用した新しい取り組みに期待している。多くの市民に利用していただけるよう、周知を図ると共に、管理受託者と連携を取りながら施設の運営に努められるよう要望した。

第三分科会 産業建設常任委員会

農業振興費
新たに「尾花沢すいか匠の助っ人応援事業」が行われることから、労働力不足の解消とともに、生産面積の拡大に結びつくよう要望した。

花笠高原施設費
花笠高原スキー場管理業務委託料について、ふるさと振興公社との勉強会の開催を求め、委託料について検証を行うよう要望した。

観光費
市観光物産協会の法人化について、職員の身分の安定化や、収支の明確化などが期待され、今後とも市として収益性の高い事業の拡大支援を行うとともに、自らも会員の拡大や自主事業の積極的な推進によって、経営の安定化を図られるよう要望した。

防犯灯設置事業補助金
引き続きLED化や木柱防犯灯の撤去など、地区からの相談に対応されるよう要望した。

道路維持費
除雪情報提供システム運用委託料について、要援護者世帯などをGPSに登録することで、おもいやり除雪の提供を図るとともに福祉分野との連携を要望した。

道路新設改良費
流雪溝整備全体計画について、市の定住促進や街づくりにとって非常に重要であり、来年度での計画完了を急ぐよう要望した。

住宅建設費
測量設計業務委託料について、安価な宅地分譲は若者の定住対策として非常に重要であり、「北町住宅」及び「荒楯住宅」の入居者と丁寧な話し合いを進める、早期に造成工事に入る事を要望した。

豪雪の尾花沢 冬こそ若者の雇用創出を



塩原未知子議員

Q 伝統ある「尾花沢雪まつり」と新企画「徳良湖WINTER JAM」のイベント運営体制や今後の広報活動を一歩進め、若者の雇用創出を促進出来ないか。

A 若手職員のGEN K-チームで企画運営した「徳良湖WINTER JAM」はR34号通年通行を記念して、企画課と観光課で連携して企画開催したが、徳良湖スノーランドとして、今後も冬期観光の目玉として継続していきたい。雪まつり実行委員会や冬の銀山温泉とも連携して雇用創出につなげていきたい。

Q 各課で管理している行政情報をどのように保管していくのか。また、年度代わり担当者が変わる事で、市民からの要望や問い合わせの引き継ぎがなされていない事が多い。改善できないのか。

A 今後実験的にファシリテーターシステムを導入して、新庁舎建設時には効率良く簡素化していく予定だが、庁舎内で課を越えて今でも出来る事、情報共有を工夫して対応していくようにする。



徳良湖 WINTER JAM (ウィンタージャム) 看板

Q 新庁舎の維持経費の概算はどうか。できるだけ市内業者が受注できるようにしてはどうか。

A 昨年制定された無電柱化の法律改正から、昭和初期の高さ10mのまわり屋台復元をしたいと夢んでいる。今年度は北町地区の再開発計画のワークシヨップなどを行い、本町地区で話し合いやワークシヨップを行い検討していきたい。

Q 現在の概算で光熱費2千900万(現在の8割増)、清掃費300万、保守管理600万、保安管理費300万と見積っている。除雪経費については駐車場、屋上ともに直営を予定しているため、今より経費削減に つとめ、工夫する。

県内一の 雪あそびランドを



青野 隆一議員

Q 子どもたちが尾花沢を大好きになる政策の一つとして、県内一の雪遊びランドを開設する共に、全ての小学校に雪山を作ってはどうか。

A 今回の「徳良湖WINTER JAM」などを整備すれば、雪遊びランド全国一も夢ではない。小学校に雪山をとこの地域の特性を活かした取り組みには、支援を惜しまないつもりである。

Q おもだか保育園や尾花沢小学校の改築費用、廃校舎などの解体費、北町再開発事業費などの費用はどのくらいかかるのか。今後10年間の財政計画を作成すべきと考えるがどうか。



雪山あそび風景

A 廃校一校当たり約1億円の解体費用が見込まれる。今の時代は5年先を見通すことも難しく、将来的に持続可能な財政運営を行いたい。

Q 放課後児童クラブやこども教室についてH29年度の申し込み状況はどうか。

A 放課後児童クラブの申し込み件数は大幅に増加しており、特に尾花沢第一放課後児童クラブは70名の定員を

平成30年からの米政策は どのように進めるのか



伊藤 浩議員

Q 米政策が大きな転換期を向かえようとしている。H30年以降の尾花沢市農業再生協議会の取り組みはどうか。

A H30年以降国からの生産数量目標配分は廃止となる。これまでと同様に需要バランスを保ち、米価の安定を図るため、山形県農業再生協議会では当面の間、国から発信される需給情報を基に目標値の目安を設定し、この数値を市町村ごとに提供し従来と同じ取組が出来ると体制を目指している。市農業再生協議会では、県から提供さ

れる数値を農家に示す方向で検討している。

Q 本市の農地は中山間地域で占めている割合が多いが、特に圃場整備がされていない水田の耕作放棄地化防止対策をどのように進めるのか。

A 市の農業委員会では毎年パトロールを実施し、遊休農地を未然に防止する対策を進めている。また、市の単独事業として農地中間管理機構の「農地集積担い手支援事業」の活用や国の制度である「多面的機能支払交付金制度」に取り組んでいる。さらに今年度から県の単独事業として「中山間地域等持続的農地保全事業」を進めている。集落説明会などでこれらの事業の周知を図り、遊休農地の拡大を抑制出来るよう

に積極的に取り組んでいく。

受動喫煙防止対策を 推進すべき



小関 英子議員

Q 受動喫煙防止のために現庁舎の取り組みと新庁舎での対策をどうするか。

A H23年度より庁舎内を全面禁煙にし、屋外に喫煙室を設けて受動喫煙防止対策に努めている。当初計画には庁舎内に分煙機能がある喫煙室を配置したが、H27年6月労働安全衛生法の改正で職場の受動喫煙防止対策が事業者の努力義務となり、新庁舎を全面禁煙とし屋外に喫煙室を設置予定。

Q 小中学生への喫煙防止教育はどのように実施しているか。



禁煙啓発チラシ

A 小学校は主に6年生の授業で、病気の予防のなかで、喫煙行為による健康への影響を指導している。中学校は、3年生の保健体育で健康な生活と疾病の予防のなかで、タバコに含まれる有害物質による体への影響、未成年者による喫煙の依存症の懸念など具体的に指導している。学校薬剤師による喫煙防止教室を開催し、小中学校で校内禁煙し保護者や地域の協力で喫煙防止啓発をしている。

Q 食品ロス削減に向け、一般廃棄物の減少を図るための取り組みはしているか。

A 食品残さなどの生ゴミは、8割が水分なのでしっかりと水切り後に排出するように周知を行っている。コンポスト購入へ助成を行い、27年度3基・28年度19基が設置されている。

Q 今年度の交流人口見込みはどの位か。また目標としているH32年度での200万人は達成できるのか。

A 今年度の交流人口は尾花沢まつりが土日開催された事などを受け前年比5%増となる180万人。来年度の交流人口200万人は予定を前倒しで達成可能と見込んでいる。

Q 花笠高原荘の今後の在り方についての検討委員会がスタートしたと聞いているが、どんな項目について検討されているのか、また現在の検討状況についてはどうか。

A 検討委員会では建物の老朽度調査の試算結果を一つの基準として、今後どうあるべきかなど、将来に向けた方向性を検討していただいており、来年度の秋頃に提言を頂く予定である。

活断層上にある保育園の早期・移転・改築を!!



笹原 和子議員

Q おもだか保育園は50年に増改築するも建設当時と変わり、園児の送迎時の安全性に欠け、老朽化により園児の健康状態の懸念、活断層上の保育園、修繕費の増大も考えられる。H28年8月に市民に対し「尾花沢市公立保育園のあり方検討委員会」より提言書が出されているが、その内容はどうか。

A 提言書の内容については当面継続する事とし、状況の変化により柔軟に対応出来るように5年を目途とし見直しを図っていく事が提言されている。移転

改築に向けて来年度より具体的な検討をかさね、新庁舎建設終了を一つの目途として計画的に進める予定である。

Q H28年11月に尾花沢小学校の小学生と保護者を対象に、市長が「もしも尾花沢市長になったらどんな尾花沢にしたいか」の問い、素晴らしく尾花沢思いの作文が帰ってきた。この取組は教育上のみならず、地域愛を育てる上で大変有意義な事であり、この作文を活用し、またこのような取組を継続してはどうか。



A 「元気な尾花沢を語る会」についてはこれまで延べ3千400名の参加で、頂いたご意見や提案については市政の参考にし、地域の皆さんと元気な尾花沢作りを進めていく。子供達のアイデアは大人が考えつかないような発想があり、今後の施策を考える時に活用していきたい。地域に根ざした教育を推進していきたい。

Q 災害時に支援が必要な市民を対象にして希望者に簡単な操作で毎日の安否確認が出来るタブレットを配布してはどうか。

A 現在使用している災害時要支援者非難支援台帳システムと、緊急通報システムを活用しながら今後も対応していくが、さらにタブレットも含め新しいシステムについても情報収集につとめる。

福原工業団地の次期の計画は



奥山 格議員

Q この度、大崎市の農業資材の会社が福原工業団地に立地する事になり、工業団地の残りの敷地が少なくなつた。工業団地の拡張が必要なのではないか。

A 今回の分譲後の保有地面積は、約2.6ha。まずはこの保有地の分譲促進に努めていきたい。

Q 銀嶺荘は、畳敷きの休憩室や大広間や浴室などがあり、避難所として利用・宿泊するにも適しており、旧上柳小の体育館と併用して使用すれば良いのではないか。

A 銀嶺荘のカビ臭さ

や雨漏りの問題点や、2つの場所に避難者が分散してしまうので銀嶺荘を指定避難所から外し、新たに旧上柳小を指定した。今後、銀嶺荘を併用し使用する考えはない。

Q 路線バスの市野々線に関して、丹生地区は範囲が広いのに、バス停が2カ所しかない。また中川地区にはバスが通ってさえいない。多少時間はかかっても集落の特殊性に配慮し、停留所を適宜設置する事で利用者の増加や利便性が図られるのではないか。

A 丹生地区の運行経路については、道路幅が狭いため現状では運行経路の変更は困難であり、停留所の設置箇所は各地区の意見を参考に検討したい。中川地区については道

路幅が狭いので、運行が困難だが、来年度地区の道路拡幅がされれば、地区内の運行も可能と考える。

Q 新庁舎の建設について、保健センターにとって最も大事なことは衛生的な事であるから庁舎とは構造的に独立させ、保健センターの利用者だけが利用できる玄関、トイレを整備すべきではないか。

A 健康診断がある場合には、玄関及びトイレに案内表示を設け、衛生面にも配慮していきたい。

Q 議場のフロアをフラットにし、執行部と議員席の横に傍聴席を設けるのは、他の自治体にもあまり例を見ないので、現在の議場のような通常の構造にすべきではないか。

A 近年このような議場も増えてきている。例えば、本県の酒田市や岩手県の紫波町の議場が同じ構造である。

健全財政の堅持を



菅根 光雄議員

Q 今後、庁舎建設、投資的事業費の増が見込まれるが、健全財政を保てるのか。

A 本市におけるH27年度の国勢調査での高齢化率が36.7%と増加し、少子化と併せて扶助費などの福祉関連予算が伸びている。国保会計も厳しい現状にはあるが、中期財政計画による一般会計からの法定外繰り入れなどにより、基金は順調に積み増しが出来ている。新庁舎建設予算も過疎対策事業債など有利な予算を利用して将来負担比率を100ポイント程度に抑える事で健全な財政を

維持できるものと見込んでいる。

Q 花笠高原周辺施設の老朽化による改修工事が莫大になるが、どうしていくのか。

A 現在、花笠高原施設の検討委員会が方向性を模索しており、事業選択と優先順位を定め、財源にあつては、補助事業や有利な地方債などを活用しながら進めていきたい。

Q 「ふるさと納税」の活用が計画的とは思えない。街の活性化のために有効的に活用すべきではないか。

A 本市のふるさと納税は寄付者が8つの事業から指定できるようなっている。返礼品などの必要経費をさし引いた金額を事業費に充当しており、H28年度は1億3千万円を見込んでいる。これを寄

見えにくい「子ども」の貧困の解決のために



鈴木 清議員

Q 「子供の貧困」問題の解決のために、生活実態調査が不可欠ではないのか。

A プライバシーがあり、特に「貧困家庭」に限った調査は難しいと考えている。学校では、集金状況や子どもの生活の様子から、気になる児童生徒や心配な子どもには個別に対応している。

Q 多岐に渡る子育て支援内容が、視覚的にわかりやすいパンフレットを作成し、市内外へPRしてはどうか。

A 福祉分野では「尾花沢市子育てガイドブック」を発行し、子

育て応援情報サイト「おがあくれ」においても随時情報を更新するなど、きめ細やかな周知を行っている。時代の流れを適宜に捉え、ニーズに即した情報発信を検討したい。

Q 国の要保護世帯の入学準備金が2倍に引き上げられたが、要保護世帯も2倍にすべきでないか。また、支給が必要な入学前にすべきではないのか。

A 両世帯とも国の基準に照らし合わせ、ほぼ同額の助成を行っている。支給時期と内容も、各自自治体の動向を注視し検討したい。

Q 就学援助の内容に「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」が含まれているのか。

A 本市でも就学援助費の補助対象品目に追加になり含まれている。

Q 県内では3市町村が学校給食費無償化を推進している。本市でも「子どもの貧困」問題の解決のため、子育て世代の負担軽減のため、人口減少対策・公平性のために無償化にすべきではないか。

A 本市の予算案には、幼児から小中学生、高校生さらに高齢者まで各種支援策を充分盛り込み、思いやり予算を編成している。無償化については、今後の財政的な状況を見ながら段階的に取り組んでいきたいと考えている。

Q 任意団体による「子ども食堂」が作られた場合、市としてどのような支援が可能か。

A 運営体制や実施方法により支援範囲が変化するが、後援・共催により施設利用料の減免措置や食材購入費などへの補助、周知活動への協力などが考えられる。

広域組合議会の報告

市町名	負担金
尾花沢市	28,453,000円
村山市	35,488,000円
東根市	20,952,000円
大石田町	10,702,000円
合計	95,595,000円

また東根、村山、尾花沢、大石田の各市町の負担額は9千599万円でH28年度比3・49%の増となった。

3月22日村山市議場で定例会を開き、H29年度一般会計予算と、関係3市1町の2議案原案通り可決。尾花沢市の岩崎雄策氏、東根市の石山泰博氏の辞職に伴う教育委員に尾花沢市延沢の五十嵐健氏と、東根市の元木正史氏を新任することに同意し、一般会計予算額は9千98万で、H28年度当初比0・82%増、北村山視聴画センターの研修機能、一般公開事業の充実を図っていく。

北村山広域行政事務組合議会

市町名	負担金
尾花沢市	116,684,815円
東根市	421,713,457円
村山市	305,311,471円
大石田町	69,505,257円
計	913,215,000円

3月23日3市1町で構成する北村山公立病院事務組合議会が東根市議場で開催され、H29年度予算をはじめとする8議案が、審議され、可決された。

また、リハビリテーション棟の老朽化による不具合が生じているため、訓練室や水治療室など棟全体の改修工事が進められることになり、実施設計が示された。H28年度の市町負担金は表のとおり。

北村山公立病院組合議会

3月24日、組合議場で定例会が開かれ、H29年度一般会計予算総額6億2千350万円、し尿処理施設の建設が終了したことから、前年度当初比9.8%の減となった。

使用料および手数料、証紙条例の一部改正案を原案通り可決した。

家庭系ごみ袋の料金がH30年4月から1枚当たり10円、事業所の一般廃棄物処分手数料は今年7月から10キロ当たり30円、それぞれ引き上げられる。

燃料費や電気料、施設の維持修繕のごみ処理手数料1人当たりの排出量増加に伴う改定で、家庭系ごみ袋の料金改定は12年ぶり、一般廃棄物処分手数料は9年ぶりの値上げとなる。

改定により家庭系ごみ袋可燃・不燃・資源3種類それぞれ大が1枚30円から40円に、小が20円から30円となる。

旧ごみ袋は経過措置としてH30年6月まで使用可能。

一般廃棄物処分手数料は10キロ150円から180円になる。

	現在	H30年4月から
家庭系ごみ袋 可燃・不燃・資源	大(30リットル) 30円	大(30リットル) 40円
	小(14リットル) 20円	小(14リットル) 30円
一般廃棄物 処分手数料	10キロあたり 150円	H29年7月から 10キロあたり 180円

※旧ごみ袋は経過措置としてH30年6月まで使用可能。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

若手の視点で!!



鈴木 裕雅議員

Q 花笠の湯、花笠高原周辺施設の今後の運営方針はどうか。

A 今後の運営方針やあり方は、「徳良湖温泉 花笠の湯」はオープン後10年以上が経過。徳良湖周辺という立地条件を活かし、徳良湖への誘客を図る中心的な施設のひとつとして継続してPRを行っていききたい。老朽化が進む「花笠高原周辺施設」は、「花笠高原荘検証検討委員会」を開催し、将来に向けた方向性について秋頃に提言をいただく予定である。

Q 流雪溝、ロードヒーティングなどの克雪対策がなされたモデル住宅地区を創る考えはあるか。

A 課題であり、市営住宅長寿命化計画で建て替え対象となっている「北町住宅」荒楯住宅用地を安価な住宅分譲のための候補地として検討を進めている。入居者などの話しを進め、方向性が見いだされた候補地から実施計画に入っていきたい。具体的な計画を立てる段階で、区画内道路整備と一緒に流雪溝整備も行っていきたい。

Q 未作付地に対する今後の対策はどうか。

A 農業委員によるパトロールを毎年実施し、遊休農地を未然に防ぐ取り組みや、国、県の事業や、市の単独事業である「農地集積担い



花笠高原周辺施設

手支援事業」を活用し、耕作放棄地対策に取り組んでいる。本年7月からは、農業委員会法の改正により、農地利用最適化推進委員を新設し、より一層の農地の最適化に向け、農業委員と一体となり対応していく。地域で策定されている「人・農地プラン」の中で、地域の農業は地域で守るといふ、地域農業に対する話し合いが最も重要であると考えている。



星川 睦子議員

Q おもだか保育園は、老朽化が進み、活断層の上に建っている。市立の保育園全体の在り方を含め、早急に移転計画を進めるべきではないか。

A おもだか保育園の移転改築は、H29年度から具体的な検討を推進していく予定。市内の私立保育所及び幼稚園などの運営計画や利用児童数の推移なども勘案し、5年後に再度その在り方について検討していく。おもだか保育園の移転改築と並行して計画的に進めていきたい。

活断層の上にある施設の移転計画を急ぐべき

Q 市の財政について、臨時財政対策債は、国が100%面倒みてくれると説明しているが、全国市長会をはじめ多くが廃止すべきと提言している。危険性をはらんでいる。市では限度額ぎりぎりまで使っているが、将来の財政のため、最小限度にとどめるべきではないか。

A 臨時財政対策債は本来、交付税で措置すべき肩代わりの財源である。現行制度を最大限に活用して本市のサービス水準を維持していくことが必要と考えている。地方の財源不足は、臨時財政対策債による補てんではなく国から地方への税源移譲や地方交付税の引き上げで解消すべきとの声もあるが、有利な制度は最大限に活用しつつ交付税制度の本来

Q 新庁舎建設に関して新たに有利な事業債ができるようだが、活用されるのか。

A 新たな「公共施設等適正管理推進事業債」を活用するにはおむね条件は整っているが、現段階ではどの程度の利用が可能か情報収集に努めながら活用していく。

Q バス乗降時に踏み台を用意して欲しいと要望があるが、実施する考えはあるのか。また幼児や高齢者のために昇降機付きバスを導入してはどうか。

A ノンステップバスは低床構造のため路面からの高さが低く、積雪の多い本市では運行に支障があり、困難な状況にある。昇降機付バスは、今後新たにバス購入する際に、導入も検討していきたい。

議会だより 読者モニター応募 ありがとうございました

1年間 よろしくお願いします



市議会だより92号(1月15日号)に、議会だより読者モニターを募集したところ、市内の方から応募がありました。大変ありがとうございます。

また、高校生にもモニターの協力をお願いしており、現在調整中です。

順調に進めば、近々顔合わせ会を予定しています。

読みやすい「議会だより」になるように、皆様から意見を取り入れ、改善していきたいと申します。モニターの方には、1年間お世話になります。よろしくお願いします。

議会日誌 TOPICS

議員研修会 (日本文化とおもてなしの心を学ぶ)

講師：伊藤瓢堂氏 (銀山上の焼焼陶芸センター代表・おばなざわ匠の会代表)

講話：日本の焼物の歴史と上の焼焼の流れ
茶会の基本的マナー

尾花沢市文化体育施設(サルナート)和室を会場にして、1月20日(金)全議員が参加して、日本文化の代表「茶道」のおもてなしの心と、地元で伝わる「銀山上の焼焼(東羽都山窯)の歴史」を学び、マナーと教養を深めました。

国内各地域に伝わる代表的な焼き物を、直接手で触れての講話は大変わかりやすく、実技では同会場で星川睦子議員のお手前でお茶会を開催し、撫子の柄の上の焼焼の茶器を使って薄茶席の体験をしました。



桃 = 長寿・魔除



柘榴 = 子孫繁栄



仏手柑 = 招福

風水三多紋

国内で現在もこの紋様を継承しているのは、唯一銀山上の焼焼だけです。

議

会

日

誌

(抜粋)

- | | | |
|---|---|--|
| <p>8日 北村山高校入学式</p> <p>7日 市内小中学校入学式</p> <p>6日 尾花沢幼稚園入園式</p> <p>5日 市民厚生常任委員会</p> <p>4日 公立保育園入園式</p> <p>4日 ひまわり保育園入園式</p> <p>29日 翔政会会派行政調査(〜30日 東京都) ⑩</p> <p>28日 社会福祉法人徳良会評議員会</p> <p>25日 公立保育園・幼稚園卒園式</p> <p>24日 シェアハウスオープンングセレモニー及び内覧会</p> <p>23日 環境衛生事業組合議会 3月定例会</p> <p>23日 北村山公立病院組合議会 第1回定例会</p> <p>23日 市政クラブ会派行政調査(〜23日 宮城県)</p> <p>22日 北村山広域行政事務組合議会 全員協議会</p> <p>18日 北村山広域行政事務組合議会 全員協議会</p> <p>16日 市内中学校卒業証書授与式 ⑨</p> <p>15日 環境衛生事業組合議会 衛生常任委員会</p> <p>14日 予算特別委員会(予算議案審議・採決) 第8回議会改革検討委員会</p> <p>13日 上柳健康増進施設開所式 ⑧</p> <p>10日 全員協議会</p> <p>6日 予算特別委員会(〜9日) ⑦</p> <p>5日 消防記念日に伴う消防訓練</p> <p>3日 総務文教常任委員会・本会議(〜15日) 議会だより編集委員会</p> <p>1日 3月定例会(〜15日)</p> | <p>3月</p> <p>25日 伊藤精一氏叙勲受賞記念祝賀会(〜24日 山梨・東京)</p> <p>23日 特別交付税要望活動及び市政クラブ会派行政調査</p> <p>22日 会派会合・全員協議会</p> <p>16日 総務文教常任委員会・市民厚生常任委員会</p> <p>14日 翔政会特別交付税要望活動(東京)</p> <p>13日 特別交付税要望活動及び</p> <p>11日 第42回尾花沢雪まつりオープニングセレモニー</p> <p>10日 尾花沢雪まつり雪灯籠づくり ⑤</p> <p>9日 特別交付税要望活動(〜10日 東京)</p> <p>8日 北村山3市1町議会議員交流事業 ④</p> <p>1日 消防ポンプ交付式</p> <p>2月</p> <p>6日 総務文教常任委員会・市民厚生常任委員会</p> <p>1日 市民厚生常任委員会</p> <p>6日 市民厚生常任委員会</p> <p>フリーミーティング提供オープニングセレモニー ①</p> <p>10日 産業建設常任委員会政策提言に係る意見交換会</p> <p>12日 会派行政調査(〜13日 岩手県奥州市)</p> <p>17日 全員協議会 ②</p> <p>18日 1月臨時会</p> <p>20日 議員研修会「茶道講習」 ③</p> <p>23日 第7回議会改革検討委員会</p> | <p>1月</p> <p>6日 市民厚生常任委員会</p> <p>フリーミーティング提供オープニングセレモニー ①</p> <p>10日 産業建設常任委員会政策提言に係る意見交換会</p> <p>12日 会派行政調査(〜13日 岩手県奥州市)</p> <p>17日 全員協議会 ②</p> <p>18日 1月臨時会</p> <p>20日 議員研修会「茶道講習」 ③</p> <p>23日 第7回議会改革検討委員会</p> |
|---|---|--|

